小さくて大きな 親善使節ウォンバットは今

◇五月山動物園の珍獣◇

ウォンバットって知っていますか？　そう、あの五月山動物園にいる人気ものの珍獣です。

オーストラリア・ローンセストン市から姉妹都市提携25周年を記念して3頭が贈られ、もう4年。このウォンバットに、1昨年には日本で初めて赤ちゃんが生まれ、昨年も誕生。日本一かわいらしい動物園は、今、大きな話題を呼んでいます。

巡り来た、春4月。5人(?)とにぎやかになったこの家族の人気の秘密はどこにあるのか、陽気に誘われ動物園へ行くと、ドングリ目をくりくりさせ、こっそりあなたに教えてくれるかも…

ウォンバットとは

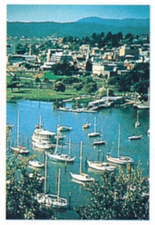
ウォンバットは、オーストラリア南東部に生息するコアラやカンガルーと同じ有袋類の草食動物。木登りしないため〝地上のコアラ〟と呼ばれています。成獣で体長約1㍍、体重20～30㌔ぐらいになります。夜行性で、頑丈な前足のつめを使い、草原や低木林の地下に長い巣穴を掘って生活しています。これまで巣穴を掘る際、牧場を野ウサギの害から守る防護さくを壊すため、害獣とされてきましたが、84年以降はオーストラリア全州で保護動物に指定、大切にされています。

日本では北海道札幌市丸山動物園、東京都多摩動物公園など6園にいます。

ウォンバットのふるさと タスマニア島 ローンセストン市

タスマニア島は、オーストラリア大陸から約240㌔南東にあります。面積は6万8千平方㌔、九州と四国を合わせたくらいの大きさです。珍獣・タスマニアデビルのふるさと。また、世界最高級の羊毛の産地です。

この島にある第2の都市がローンセストン市です。オーストラリアでは最も早く白人による開拓が進められた所で、市街地はヨーロッパの地方都市の雰囲気があります。世界中からバイヤーが集まり、ウールオークション（せり市）が開かれにぎわう一方、自然が豊かな国立公園の多い美しい都市です。



池田市との姉妹都市締結のきっかけ

本市とローンセストン市が結ばれることになったのは、昭和37年、両市の高校生が文通を通じて知り合い、両市に働きかけたのがきっかけです。

その後、両市の市議会で都市提携が承認され、40年11月1日、池田小学校講堂で、姉妹都市提携の調印が行われました。

ウォンバットが親善使節に

姉妹都市提携後、両市の児童、生徒による文通、絵画の交換展示、青少年の交流が活発になされ、友好を深めてきました。

このような中、平成元年4月、本市の市制施行50周年式典に出席するため本市を訪れたジミー・チノグロウ・ローンセストン市長（当時）が、姉妹都市提携25周年を記念し、ウォンバットを動物親善使節として贈ることを若生正市長に約束。同2年5月2日に実現したものです。

ウォンバット家族のプロフィール

ティア（伯母）

89年12月、生後約2カ月の時から、ほ乳瓶を使ってワイルドライフパークで飼育されました。ワイン、ワンダーと一緒に五月山動物園へ来園。

※ワイルドライフパーク＝オーストラリア・タスマニア州（島）ローンセストン市にある自然動物園の名前。

ワンダー（母）

89年9月、母親は不幸にも人の撃った弾に当たり死亡、その袋の中で生きていました。当時、生後約8カ月、体重2㌔。以後、ワイルドライフパークで飼育。

ワイン（父）

89年11月、生後約10カ月の時、母親が車にはねられ死亡。衝撃で母親の袋から飛び出ました。以後、ワイルドライフパークで飼育され、90年5月に五月山動物園に来園。

さくら（次女）

93年9月、ワンダーとワインの間に生まれました。名前は、「さつき」の名前を公募した際の、2番目に多かった名前。性格は人によくなつき、おてんば。

さつき（長女）

92年1月に、ワンダーとワインの間に日本で初めて生まれました。名前は同年7月に一般公募され、1,300人、1,500点の中から決定。

五月山動物園

所在地●綾羽2-5-33　電話番号●51・1005　開園時間●9:00～16:45　休園日●毎週火曜日　入園料●無料　交通●阪急電鉄宝塚線池田駅下車、北へ徒歩13分〈車利用の場合〉名神高速道・豊中インターまたは中国自動車道・池田豊中インターより国道176号へ　駐車場なし

ウォンバットの成長記録

贈呈披露式から「さつき」の誕生、自立まで

ローンセストン市から空路、五月山動物園に到着　（平成2年5月2日）

ワンダーのおなかの袋に子供が生まれているのを確認（4年1月15日）

時折、母親のおなかの袋から顔を出して「コンニチハ！」（4年2月26日）

完全に母親の袋から出て歩き出すと、連日、押すな押すなの見物人（4年5月5日）

お乳、欲しいよ～　（4年5月20日）

日本初の誕生に、㈳日本動物園水族館協会から「繁殖賞」（5年8月）

自立させるため子供を突き放し、ついに隔離。でも母親の心は…（4年10月21日）

ローンセストン市長夫妻が池田市を訪問。ウォンバットと対面し、日本初の誕生を喜んだ（4年9月14日）

一般公募で「さつきちゃん」と命名され、心なしかうれしそう（4年8月25日）

どこへ行くにも母さんと一緒（4年8月15日）

お知らせ

「ウォンバットの絵」を募集

◇締め切りは5月24日です◇

7月から7年6月まで、本紙1日号に掲載（毎月1人1点）するウォンバットの絵を募集します。

絵はクレヨン、鉛筆、水彩、版画や切り絵、パッチワーク作品など種類を問いません。サイズは四つ切り以下。だれでも応募できますが、作品は返却しません。応募者にはウォンバットのレターセットをさしあげます。

応募は、5月24日㈫までに作品の裏面に住所、氏名、年齢、職業（園児、児童・生徒であれば園名、学校名・学年）を書いて、広報広聴課（〒563池田市城南1丁目1-1）へ郵送または持参ください。問い合わせは同課（内線216）。

池田駅構内におしゃべりウォンバット登場

人に話しかけ、あいさつや自己紹介などをする〝おしゃべりウォンバット〟が阪急池田駅構内の改札口前に4月5日㈫からお目見えします。

このウォンバットに近づくとセンサーが感知し、自動的にウォンバット親子が話しかける仕組みになっています。

このウォンバットは父親のワインと子供のさくらちゃんがイメージされたぬいぐるみで、体長は父親が50㌢、子供が20㌢。アクリル製の透明の容器に入れ、ウォンバットなどがデザインされた高さ約90㌢のスチール製の台の上に置かれます。

あなたもかわいいウォンバットとお話ししてみませんか。

「ウォンバットの親子」ラガールカードを発売

◇テレホンカード、ビデオも◇

ウォンバットの親子をあしらったラガールカードが池田・石橋両駅で発売され、人気を呼んでいます。

同カードは、阪急電鉄㈱が開発した定期券感覚で改札機を通れるもので、今回両駅構内売店で発売されたのはドングリ目をくりくりさせ、母親に寄り添うさくらちゃんがデザインされた1、000円の大人用のもの1種類。両駅の券売機では1、000円～3、000円のものが4月初旬まで発売されます。

五月山動物振興会が作成したテレホンカード（50度数1枚700円）も、市役所7階公園課、緑のセンターなどで好評発売中です。

また、同振興会が、日本初の誕生を記念して作成したビデオ「ウォンバットの赤ちゃん誕生物語」（カラー、27分、1、000円）は残りわずかになっています。かわいい赤ちゃんのしぐさや、誕生から自立までを支える親の愛を描くこのビデオは、公園課にあります。問い合わせは同課（内線357）へ。

テレホンカード

ラガールカード